

平成28年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補・県単

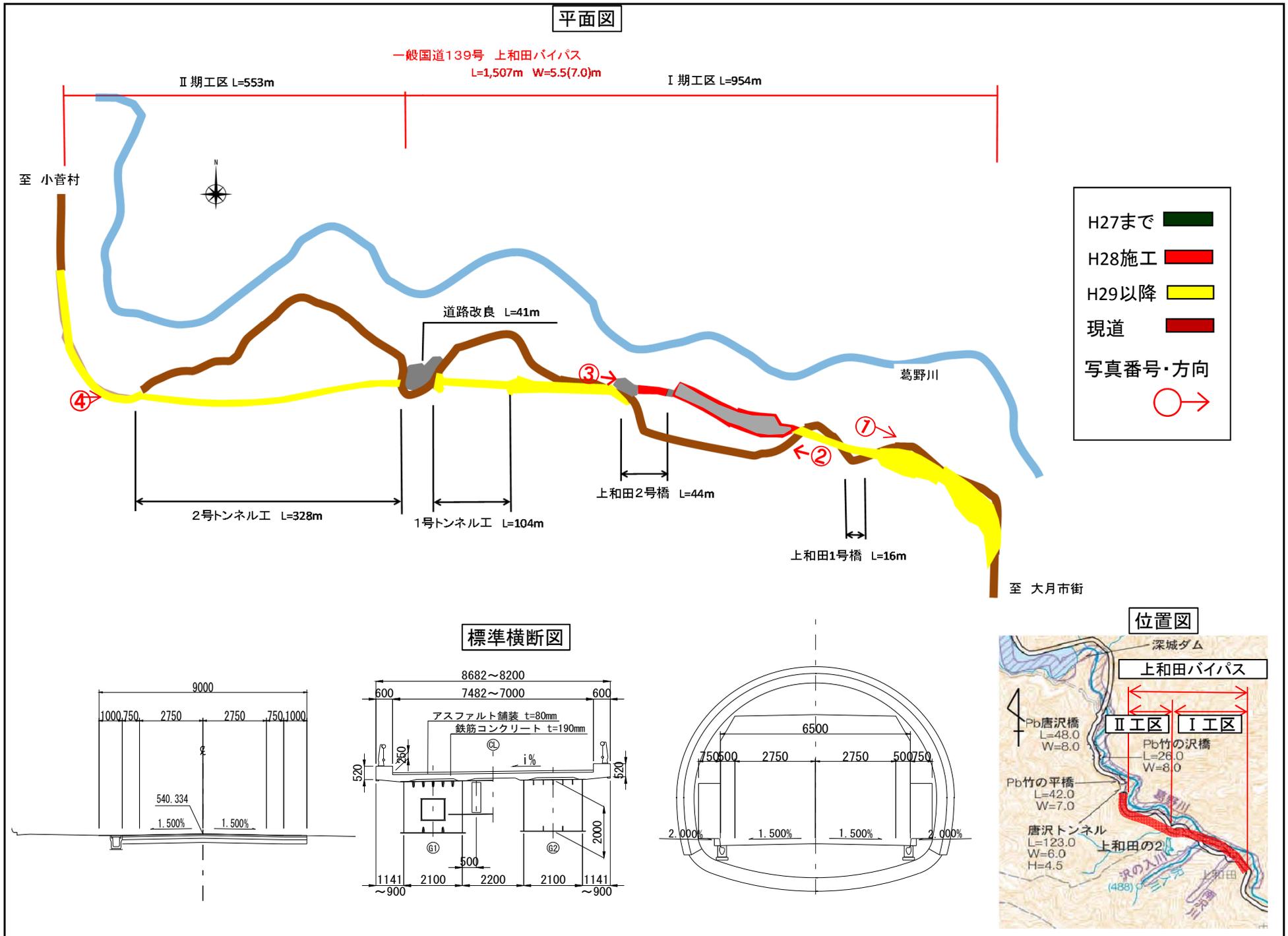
1. 再評価調書

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	大月市七保町瀬戸上和田	地区名	国道139号 (上和田バイパス)	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定		⑤再評価時等の評価状況 (Ⅰ期工区：平成19年度事前評価) この事業は、国道139号のうち、幅員が狭小で小型車同士のすれ違いの困難な大月市七保町瀬戸上和田地内において、山間部の人家密集地への影響を極力抑え、バイパスとして整備するものである。当該道路は、県東部地域の重要な幹線道路であり、松姫バイパス開通後は、大型車両の通行量の増加が見込まれ、上和田小学校へ通学する児童の安全確保のためにも、早急に整備する必要がある、実施が妥当である。 (Ⅱ期工区：平成25年度事前評価) 10億円未満のため、委員会評価対象外。															
計画期間	H20年度～H29年度	—	H20年度～H34年度																	
総事業費	2,450百万円	—	3,250百万円																	
(1) 事業の概要																				
①事業目的及び効果 一般国道139号は、静岡県富士市を起点とし、東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、大月市から県境にかけ第2次緊急輸送道路に指定されている。 当該地区内は、幅員狭小で道路線形も悪く、大型車のすれ違いが困難など、交通の隘路となっており、落石や土砂崩落などが頻繁に発生している。また、平成26年11月の松姫バイパス開通に伴い交通量が増加していることから、早急な道路整備が必要である。																				
②事業概要 計画延長 L=1,507m W=5.5(7.0) m (2車線) 道路幅員 車道5.5m (2車線)																				
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度まで</th> <th>平成28年度 (評価実施年度)</th> <th>平成29年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>道路改良工事 トンネル工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,050百万円</td> <td>300百万円</td> <td>100百万円</td> </tr> </tbody> </table>										平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降	工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事 トンネル工事	事業費	2,050百万円	300百万円	100百万円
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降																	
工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事 トンネル工事																	
事業費	2,050百万円	300百万円	100百万円																	
④特記事項 なし																				
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																				
①地域・住民の意向状況																				
②産業・経済情勢 松姫バイパス (大月市～北都留郡小菅村) L=3.8kmが平成26年11月に供用開始し、事業箇所の交通量が増加している。(699台/12h→1,013台/12h)																				
③国等の方針変更 なし																				
④上位計画・関連事業計画等の変更 「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月)																				
⑤自然環境条件等の変化 なし																				
⑥その他 平成25年度にⅡ期工区の事業化が認められたため、Ⅰ期工区と合わせ今回再評価に諮る。																				
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]																				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時計画における事業全体B/C (19年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.61 > 1.0 (Ⅰ期工区) ・事業採択時計画における事業全体B/C (25年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.07 > 1.0 (Ⅱ期工区) ・再評価時計画における事業全体B/C (28年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.21 > 1.0 (国土交通省費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.00以上) 																				

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 なし</p> <p>②施行済みの事業内容（（1）③「全体計画」に記載した内容と比較）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:35%;">平成27年度まで</td> <td style="width:50%;">平成28年度 (評価実施年度)</td> </tr> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事</td> <td>用地取得・補償 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,039百万円</td> <td>90百万円</td> </tr> </table> <p>③進捗率（現計画に対する実績）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td></td> <td>平成20年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>4.1</td> <td>18.4</td> <td>38.8</td> <td>53.1</td> <td>61.2</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>4.8</td> <td>6.0</td> <td>7.9</td> <td>12.3</td> <td>17.6</td> <td>28.3</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>71.4</td> <td>83.7</td> <td>95.9</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>39.2</td> <td>42.4</td> <td>46.1</td> <td></td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </table> <p>H28の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 計画期間内での完了に向け、事業進捗を図ったものの、用地取得に時間を要し、事業完了が平成34年度となる。</p>		平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事	用地取得・補償 道路改良工事	事業費	1,039百万円	90百万円		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計 画	4.1	18.4	38.8	53.1	61.2	65.3	実 績	4.8	6.0	7.9	12.3	17.6	28.3		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	算出方法	計 画	71.4	83.7	95.9	100.0	計画事業費/総事業費×100	実 績	39.2	42.4	46.1		実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 地質調査の結果により、補強土壁や橋梁下部工の軟弱地盤対策、土留め法面補強、トンネル掘削方法の変更を実施することとした。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載） 交渉が難航していた土地取得が概ね完了したことから、事業期間を5年延長し、平成34年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費の見直し <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:70%;">内 容</td> <td style="width:30%;">事業費</td> </tr> <tr> <td>軟弱地盤対策に伴う工事費増</td> <td>400百万円の増</td> </tr> <tr> <td>土留め法面補強に伴う工事費増</td> <td>300百万円の増</td> </tr> <tr> <td>トンネル掘削方法の変更に伴う工事費増</td> <td>100百万円の増</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>800百万円の増</td> </tr> </table> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 環境への影響を考慮し、計画区間の約29%がトンネルとなっており、周辺環境への影響に配慮した計画である。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他（ ）</p> <p>(理由) 土地取得が概ね完了したことから、事業期間を5年延長及び事業費を増額し、平成34年度の完成を目指す。</p>	内 容	事業費	軟弱地盤対策に伴う工事費増	400百万円の増	土留め法面補強に伴う工事費増	300百万円の増	トンネル掘削方法の変更に伴う工事費増	100百万円の増	合 計	800百万円の増
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)																																																									
工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事	用地取得・補償 道路改良工事																																																									
事業費	1,039百万円	90百万円																																																									
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																					
計 画	4.1	18.4	38.8	53.1	61.2	65.3																																																					
実 績	4.8	6.0	7.9	12.3	17.6	28.3																																																					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	算出方法																																																						
計 画	71.4	83.7	95.9	100.0	計画事業費/総事業費×100																																																						
実 績	39.2	42.4	46.1		実施事業費/総事業費×100																																																						
内 容	事業費																																																										
軟弱地盤対策に伴う工事費増	400百万円の増																																																										
土留め法面補強に伴う工事費増	300百万円の増																																																										
トンネル掘削方法の変更に伴う工事費増	100百万円の増																																																										
合 計	800百万円の増																																																										

3. 添付資料シート (1)



添付資料シート（2）

①起点側



②施工状況



至 小菅

③上和田2号橋施工状況（A2橋台よりA1橋台を望む）



④終点側（2号トンネル終点側坑口位置）



至 大月市街

年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H20	118,420	測量、調査、設計	3.6%
H21	27,920	用地取得・補償、設計	4.5%
H22	46,000	用地取得・補償	5.9%
H23	108,617	用地取得・補償、道路改良工	9.3%
H24	131,126	道路改良工、橋梁下部工（2号橋）	13.3%
H25	261,327	用地取得・補償、測量、調査、設計、橋梁下部工（2号橋）	21.3%
H26	266,270	用地取得・補償、測量、道路改良工、橋梁下部工（2号橋）	29.5%
H27	78,890	用地取得・補償、道路改良工	32.0%
H28	90,000	用地取得・補償、道路改良工	34.7%
H29	300,000	道路改良工、橋梁下部工（1号橋）	44.0%
H30	400,000	道路改良工、橋梁上部工（2号橋）、トンネル工（1号トンネル）	56.3%
H31	300,000	道路改良工、トンネル工（1号トンネル）、橋梁上部工（1号橋）	65.5%
H32	550,000	トンネル工（2号トンネル）、道路改良工	82.4%
H33	350,000	トンネル工（2号トンネル）	93.2%
H34	221,430	トンネル工（設備）、道路改良工	100.0%
合計	3,250,000		